

まごころ心ちゅう

vol.
08

2019.08 発行
府中病院 広報誌



医療特集「角膜障害」

表紙写真：府中アイセンタースタッフ



医療メディエーターってどんな人？

府中病院ではいろんな職種のスタッフが働いています。
今回は医療メディエーターを紹介させていただきます。



- 1995年 4月 府中病院 医事課 入職 (現: 医療情報課)
- 2008年 3月 患者様相談室 異動 (現: 患者支援室)
- 2009年 3月 医療メディエーター養成講座 導入・基礎編受講 (B認定)
- 2016年 11月 医療メディエーターIコース受講 (選抜研修)
- 2018年 3月 医療メディエーターAコース受講 (認定医療メディエーター A認定取得)

日本メディエーター協会 認定者数 B認定 3,034名 ・ A認定 52名

医療メディエーターの仕事とは？

近年、医療業界においては、患者さんと医療者が対等な立場で協働して治療に取り組む姿勢が大切な時代となってきました。

医療現場では、患者さんと医師、患者さんと看護師など、一対一で対応する場面が多くあり、医療についての知識の違いや認識のずれにより、齟齬（食い違い）や誤解が生まれることがあります。

医療メディエーターは、こういった齟齬や誤解が発生した時に、患者さんと医療者が向き合う場を設け、いずれにも偏らない立場で思いや背景を共感的に受け止めます。そして、自分の見解や評価・判断を示さず、当事者同士の対話促進をとおして「互いに見えていない相手の事情や深い思い」についての情報共有をすすめ、関係の再構築を支援することが役割です。

この認定をめざしたきっかけは？

治療結果が悪かった時など、患者さんの思いと医療者の思いの板挟みになり、解決できずにどうすれば良いのか分からなくなり、自分自身が苦しんでいました。

また、患者さんや患者さんご家族だけではなく、同じように医療者も傷ついていることが分かってきたのに、どうすれば良いのかも分かりませんでした。

そんな時に医療メディエーションを知り、専門的な知識を高め、院内で役立てたいと思い勉強を始めました。

やりがいを感じる時は？

やはり、患者さんと医療者の信頼関係が再構築できた時です。

患者さんから「最初信頼できへんって言ってごめんな」「話をきちんと整理して聴いてくれたから、先生にも自分の思いを言えました」「また、先生に今後もお世話になります」と言ってもらえた時は本当に嬉しかったです。

また、医療者からも「きちんと落ち着いて話をすることができた」「患者さんの思いも分かったし、自分の思いも理解してもらえ、嬉しかった」と言ってもらえました。

関係が再構築されることにより、患者さんへは本来受けていただくべき安全で安心な医療が提供でき、医療者へは安心して働くことのできる環境を提供できるのではないかと考えています。

今後も齟齬や誤解が発生した時、表層的な解決をするのではなく、患者さんと医療者が直接向き合って対話する場を設け、患者さんと医療者の質の高い関係性を築けるよう手助けして行きたいと思っています。

院内スタッフ向け「患者対応向上研修会」を実施しています



研修会の様子

院内スタッフに対して「患者対応向上研修会」を毎年実施しています。医療メディエーター研修を受講した、患者支援室スタッフが講師を努め、医療メディエーション概念を取り入れた「聴く姿勢の大切さ」や「怒りのメカニズム」などを、座学、ロールプレイ、患者対応事例VTRの視聴およびグループワークを組み合わせた研修を行っています。

医療特集 角膜障害はどんな病気？

府中アイセンター
センター長
下村嘉一がお答えします。



日本眼科学会専門医
専門分野：角膜

角膜とは？

眼球を構成する一番外側の透明な膜です。
わかりやすいえば、黒目の透明な皮です。
中央の厚みは約0.5mmです。(右図参照)

角膜障害とはどんな病気？ 症状は？

角膜が白く濁る病気で、症状としては痛みや視力低下、
充血、流涙があります。

原因は？

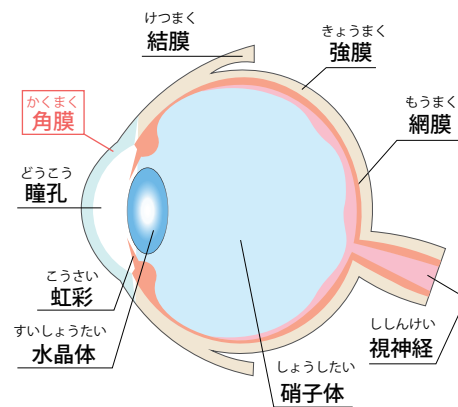
細菌、ウイルス、真菌、アメーバなどの感染やアレルギーによる炎症、遺伝性の病気、角膜の腫瘍、角膜の一番内側の内皮細胞の障害(レーザ虹彩切開術後、白内障術後、遺伝性、コンタクトレンズ長期装用など)が挙げられます。

ふだん気をつけることは？

視力が落ちたり、眼が痛い、充血、流涙があるときはすぐに眼科医を受診してください。

治療方法は？

感染に対しては抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬など、アレルギーには抗アレルギー薬、遺伝性の病気や腫瘍、内皮細胞の障害にはまず保存療法を行い、奏功しなければ最終的に角膜移植を行います。



JR 和泉府中駅前 府中アイセンター開設



2019年6月17日JR和泉府中駅前に府中アイセンターが開設しました。
府中病院はこれまで大阪南部の急性期医療の中核を担ってきました。
中でも眼科は南大阪において、眼科疾患数および手術件数は高いレベルを誇っています。

このたび、府中病院の眼科部門を独立させて、さらに多くの眼科疾患に対応するために府中アイセンターとして開設しました。
府中アイセンターではエキシマレーザーやフェムトセカンドレーザーなどの先進医療機器を導入し、これまで以上に正確・安全を担保した診療を行っていきます。

白内障手術においては一般的症例から難易度の高い症例まで対応し、なおかつ先進医療である多焦点眼内レンズにも対応します。
また、日本では選別された施設でしか導入されていないレーザー白内障手術装置を設置しました。
この装置により、安全性と正確性が格段にアップし効果を最大限に発揮することができます。

硝子体手術全般(黄斑円孔・黄斑上膜・増殖糖尿病網膜症・硝子体出血など)も多数対応し網膜剥離、急性緑内障発作、術後眼内炎、網膜動脈閉塞、眼外傷など、緊急を要する紹介症例には迅速に対応することができます。

受付時間 [午前] 8:00~11:45 (診察は 9:00から)
[午後] 12:00~14:45 (診察は14:00から)
休診日 日曜日・祝祭日
ご予約・お問い合わせ 0725-90-5123
※月~金曜日(祝祭日除く) 9:00~17:00



いりょうあんぜん かんりしつ 医療安全管理室のおしごと

医療の現場には様々な「予想出来ないこと」が発生します。医療安全管理室では患者さんに安全で安心な医療を提供するために、職員の安全研修や教育を行っています。医療安全に対する意識を高めるとともに、職員全体に発生した出来事を共有し、事象の再発防止や医療事故を未然に防ぐ活動を行っています。

医療安全管理室は、医療に係る安全管理対策および医療事故防止対策の推進をはかることを目的とし、これを達成するために、下記の業務を行っています。

1. 院内における医療安全管理対策および医療事故防止対策の企画・立案および立案に関すること。
2. 医療に係る現場の情報収集および実態調査に関すること。
3. 安全管理マニュアルの作成などに関すること。
4. 安全管理のための教育および研修の企画および運営に関すること。
5. アクシデントおよびインシデント報告の調査および分析ならびにカンファレンスに関すること。
6. リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。
7. 医療事故などに係る診療録および看護記録などの記載状況の確認および指導に関すること。
8. 患者さんおよびご家族などへの説明など、医療事故発生時の対応状況の確認および指導に関すること。
9. 医療事故などに係る原因究明の確認および指導に関すること。
10. 事故発生時の対応業務および相談窓口に関すること。
11. 医療事故調査報告制度の対応に関すること。
12. その他医療に係る安全管理対策および医療事故防止対策に関すること。



医療安全管理室には医師1名、看護師2名、薬剤師1名、臨床工学士1名、事務員2名が在籍しています。日々、医療安全管理室ではそれぞれの専門性を活かして、意見を出し合いながら検討する場を設けています。院内で起こった小さな出来事が、大きな事故につながらないために、医療安全管理室内で十分に確認し、検討した内容をもと、院内全体に情報の共有を行い、再発防止対策や勉強会の開催などを行っています。



医療安全管理者の とある1日

出勤

- 9:00 前日までの報告内容を確認、部署内でミーティング
- 10:00 委員会の打ち合わせ
- 11:00 会議資料準備
- 12:30 昼食
- 13:00 各部署のカンファレンスに参加
- 14:00 救急カート点検
- 15:00 医療安全管理室 室長へ報告
- 16:00 医療安全ニュースの作成

帰宅



いしけんしゅう 医師研修センターのおしごと

医師研修センターには、3名の事務員が常在し、研修責任者、副責任者の医師とともに各診療科、各部署に協力してもらいながら、初期臨床研修医や専攻医が研修をスムーズに行えるようサポートしています。

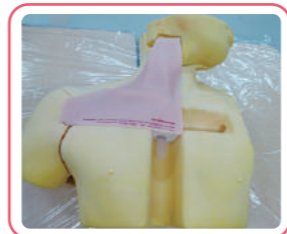
— 初期臨床研修医とは？

医師国家試験合格後、2年間で基本的な診察能力を身につけるため研修している医師です。現在府中病院には、1年目初期臨床研修医が12名、2年目初期臨床研修医が10名います。

— 専攻医とは？

初期臨床研修修了後、3年間で自分の希望する診療科をより専門的に学ぶため研修している医師です。現在府中病院には、内科を専門とした3年目専攻医が4名います。

＼ 私たち、1年目の初期研修医です！ ＼



スキルアップ講習会

1年目の初期臨床研修医を対象にスキルアップ講習会(様々な医療的技術の練習)を開催しています。指導は医師や他部署の人たちに協力してもらいますが、調整や練習用の人形の準備などをしています。

セミナー、講演会

月に2回のランチョンセミナー(症例検討会)や年に数回開催している講演会など初期臨床研修医や専攻医が参加する講演会の調整、準備をしています。

研修医からの相談なども多いので、日頃から初期臨床研修医や専攻医との関係、コミュニケーションを大切にしています。



医師研修センターは初期臨床研修医と専攻医の部屋です。初期臨床研修医や専攻医同士でいろいろなことを話したり、時には体を休めるために休憩したりもしています。初期臨床研修医や専攻医以外の先生たちも多く出入りするので、診療のことを相談したり、雑談したりもしています。

医師研修センター事務員のとある1日

出勤

- 8:40 コーヒーの準備、飲み物などの補充
- 9:00 診療科実習生対応
- 9:30 研修医対応
- 10:00 事務処理
- 11:30 ランチョンセミナー(症例検討会)準備
- 13:15 ランチョンセミナー(症例検討会)片付け
- 13:30 昼食
- 14:30 ランチョンセミナー(症例検討会)アンケート集計
- 15:30 事務処理
- 16:00 研修医スキルアップ講習会準備
- 17:00 研修医スキルアップ講習会片付け

帰宅



勤務、書類管理

初期臨床研修医の出退勤や休暇、出張などをデータ管理しています。提出書類も多いのですが、中には提出し忘れる先生もいるので、提出を促しています。

研修医の募集

臨床研修の広報、8月に実施する採用試験の対応を行っています。医学生を対象とした病院見学会の随時開催、診療科実習の受け入れも行っています。また、説明会にも参加して府中病院の臨床研修を広報しています。



府中病院が地域の皆さんに認めていただける「最高の病院」となるための取り組みや活動をご紹介します。

2019年度のテーマはこちらです!



出張講座

府中病院では、一人でも多くの方へ正しい医療情報をお届けするために出張市民講座を開催しています。当院スタッフが皆さまの希望される会場に向いて、様々なテーマで出張講座を開催いたします。ぜひご利用ください。



出張講座の様子

- 日時、応相談
- 講師料金・交通費 無料
- 和泉市・泉大津市近辺の開催場所
- 15名以上の団体、グループ（営利や勧誘などを目的の講演はお受けできません）

お申し込み方法・開催までの流れ

1 ご希望のテーマを選択してください。

- 出張可能曜日をご確認ください。出張可能曜日であっても都合上、お受けできない場合があります。

2 申込書に必要事項をご記入ください。

- お申し込みは講演希望日の2か月前までお願いいたします。
- 必要事項をご記入後、地域医療連携室までお申し込みください。

3 申込書が届きましたら、担当からご連絡いたします。

- ご記入いただいた連絡先へ、ご連絡いたします。

4 詳細な調整をいたします。

- 開催当日の準備や参加者数など運用の調整を主催者さまと行います。

5 講座開催当日

- 1時間前に開催場所に伺い、準備を開始いたします。

お問合せ先

 府中病院 地域医療連携室
0725-43-1234(代表)

まずは、こちらにご連絡ください

番号	テーマ	医師担当
1	あなたの足は大丈夫？ 本当はこわい足の病気	医師担当
2	あなたの症状は本当に風邪ですか？	
3	人生の最期について考えたことありますか？ ～アドバンス・ケア・プランニングについて～	
4	心不全は誰にでも起こる病気です！ ～正しい知識で予防しましょう～	
5	高齢化社会における心不全治療 ～入院しないための地域連携医療～	
6	眠け、疲れ、いびき…それって無呼吸かも？ ～睡眠時無呼吸と生活習慣病～	
7	あなたの血圧だいじょうぶですか？	
8	見逃せない胸痛	
9	脂質異常症コレステロール、 中性脂肪が高いと言われたあなたへ	
10	治療の必要な不整脈	
11	アルコールと肝臓	
12	胃がんを正しく知ろう！	
13	糖尿病ってどんな病気？	
14	からだにやさしい大腸がん手術 ～手術支援ロボット"ダビンチ"～	
15	進化する胃がん治療の実際	
16	胆石について	
17	乳がんについて ～がんの発生・診断・治療～	
18	食道がんについて～食事の時、胸がつかえたり、 チクチクしませんか？～	
19	膵臓がんについて ～がんの発生・診断・治療～	
20	ヘルニア(単径・腹壁癒痕・臍)について	
21	熟年期以降の婦人科疾患について	
22	見逃されやすい皮膚がんについて	
23	紫外線と皮膚疾患	

番号	テーマ	看護師担当
24	形成外科って何するところ？ ～ちょっとしたケガから、皮膚のできもの、 顔の骨折など、意外に身近な科なんです～	医師担当
25	脳卒中を知ろう	
26	手術で治る認知症と歩行障害	
27	赤い目と白い目の病気	
28	いつまでも元気であるために… 健康診断で早期発見！	
29	更年期障害との付き合い方 ～いつまでも素敵な女性であるために～	
30	もし、あなたが手術を受けることになったら	
31	スキンケア ～乾燥・かゆみを抑えてツルツルお肌を保とう～	
32	尿失禁について～みんな経験している ちょこっと漏れに、1日5分の骨盤底筋群体操～	
33	がんについて学ぼう！ ～あなたと大切な人の命のために～	
34	エンディングノートを書いてみよう ～これからの人生を有意義に過ごすために～	看護師担当
35	よく生き、よく死ぬことを考える ～今!知っておきたい緩和ケア～	
36	その症状、脳卒中かもしれません!! ～脳卒中を重症化させないために～	
37	脳卒中後の認知症について ～その人らしく生活するために～	
38	災害時に役に立つ応急処置!	
39	健康寿命は血圧管理から	
40	心不全とうまく付き合う方法	
41	生活習慣病を知ろう	
42	冬に流行する感染症	
43	高血圧の食事療法について～塩分の減らし方～	
44	骨を強くするために～何をどう食べるか～	臨床検査技師担当
45	病院でもらった検査データの見方・考え方	薬剤師担当
46	お薬、これだけは注意してください!	

急性期病院としてのお願い

当院には、救急車で搬送される患者さん、緊急に入院の必要な患者さん、他の医療機関からのご紹介で手術や精密な検査を行う患者さんが多数来られます。

当院は、このような重症患者さんを迅速に受け入れ、特に緊急の治療が必要な病気やケガに対して、急性期の医療を行っています。そのためには日ごろから入院用の空きベッドを準備しなければなりません。

こうした理由から当院では、病状が落ち着きましたら早期の退院、他院への転院、施設への入所をお願いしております。北泉州地域の救急用ベッドを、次に必要な救急・重症患者さんにご提供するために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



救急・重症の状態



府中病院で急性期治療

急性期治療が
落ち着けば



他院へ転院



ご自宅へ退院



施設へ入所

AIF 総合相談センター／がん相談支援センターのご案内

AIF 総合相談センターは、患者さんやご家族の皆さんの療養生活に関するご不安やご不明なことを各専門分野のスタッフが、皆さんと一緒に考えていく窓口です。また、当院は「大阪府がん診療拠点病院」であり、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができます。何でもお気軽にご相談ください。ご相談をご希望の方は、AIF 総合相談センターのスタッフまでお申し出ください。

※患者さんの相談内容の秘密は厳守いたします。

◆ 相談時間：月～土曜日（祝祭日除く） 9：00～17：00

◆ 場 所：西館1階 総合受付横



府中病院の 基本方針

Excellent hospital
—最高の病院を目指す—

単に良い病院ではない、さらに良い病院でもない、
自他ともに認める最高の病院を目指します！

私たちの 理念

使命 愛の医療と福祉の実現

会是 地域と職員と共に栄えるチーム
Yu・ki・to・do・ku
ゆき届いたサービス

診察時間のご案内

[受付時間]

午前受付 8：00～11：45

午後受付 各診療科により異なります

[診療時間]

午前診療 9：00～

午後診療 各診療科により異なります

[休診日]

日曜日・祝祭日・年末年始



府中病院

〒594-0076 大阪府和泉市肥子町1丁目10番17号

Tel.0725-43-1234 <http://www.seichokai.or.jp/fuchu/>

府中病院広報誌「まごころふちゅう」Vol.8 / 2019年8月発行 編集・発行 / 府中病院 企画室

